

GO! WEST!

紫波西学園小中合同研修会

「探求の対話p4c研修会」

7月30日(金)、文科省のCSマイスターで、宮城教育大学学長付き特任教授の野澤氏をお招きして、対話のツールとしての探求の対話「p4c」の導入により、紫波西学園の子どもたちに主体的・対話的な学びの土台作りをしようと標記小中合同研修会を開きました。

お話を聞くだけでなく、先生方が探求の対話「p4c」を実際に体験しながら、学びました。今後、実際に中学生にも体験してもらう予定です。



紫波西学園の異年齢交流活動として、探求の対話「p4c」によって、子どもたちに以下のような資質を育成したいと思います。

- 1 問いを立てる力を養う。
- 2 いろいろな考えを認める態度を育む。
- 3 ありのままの自分を大切にする自己肯定感を育てる。



講師の野澤先生



自己表現されている先生方

読み聞かせボランティア募集中!

西の杜小学校では、保護者の方にチラシを配布しました(小学校、志和・水分公民館にもあります)が、地域の方々や祖父母の方々の参加も大歓迎です。ご協力いただける方は、裏面の地域学校協働チームまでご一報ください!

水生生物による河川の水質調査



7月15日(木)2・3校時、西の杜小学校5年生44名は、環境教育の一環として水生生物による学校脇を流れる滝名川の水質調査をしました。

当日は、環境マイスター紫波(佐藤会長)のボランティアの皆さん17名の方に出前講座としてご指導を受けて、実際に滝名川に入り、石を裏返しながら、川虫を集めました。きれいな川に棲む虫がたくさん見つかりました。COD(酸素含有量)やPH(酸・アルカリ)、透明度調査でも非常にきれいな川であることが実証され、大喜びでした。

環境マイスター紫波 下町 さん

西の杜小学校5年生の水生生物調査で、透明度・PH・CODの水質検査後に水生生物を捕獲しました。当日の滝名川は若干流れが速く水温も低めでしたが、生徒たちは「去年もやっているから大丈夫」と、すぐ捕獲を始め、大物狙いの子、小さな虫まで丁寧にみて捕まえる子、皆一生懸命でした。捕獲後の指標生物の名前の確認まで、児童たちは終始真剣に取り組み、観察を通じて身近な自然環境について考えるよい機会になったようでした。



ヒラタカゲロウ

きれいな水に棲む指標生物で、滝名川では一番多く見つかりました。カワゲラ、沢蟹、トビゲラなども見つかりました

岩手県緊急事態宣言発令のため、8月31日(火)開催予定の第2回学校運営協議会は、延期(学校運営協議会のみ9月27日実施)となりました。予定されていた内容を紹介します。

- 1 小中の授業参観(期日未定)
- 2 紫あ波せトーキング
- 3 **第2回学校運営協議会(9月27日)**

協議題1 小中合同で取り組みたいこと

- ・ 主体性・対話力・自己肯定感を育む探求の対話「p4c」を共通導入して研究していく。

協議題2 冬季間の除雪について

- ・ スクールバス停留所や通学路の除雪をどのようにして、子どもの安全を守るか。

協議題3 地域学校協働活動の今後の展開

- ・ 地域学校協働活動をどのように展開していくか。

スクールガード・ボランティア情報交換会

8月19日(木)西の杜小学校を会場に、スクールガード・リーダー2名、地区交通安全協会代表4名、西部駐在所1名、本校スクールガード・ボランティア18名、本校職員6名が集まって情報交換会を開きました。

- ・ 子どもたちはリーダーを中心に交通ルールをよく守って安全に登下校しているが、中には危険な行動をしてしまう子がいるので注意したい。
- ・ スクールガード・ボランティアと一目で分かるように、安全のためにもベストや安全旗が欲しい。(旧小学校区から、残部をいただきました。)
- ・ 危険個所の点検・改善、特に冬季間は積雪・凍結でバス停や通学路が狭く危険になるので、対策を考えたい。
- ・ 地域総ぐるみで子どもたちの安全を守るために、スクールガード・ボランティアの組織や連絡方法について考えていきたい。
- ・ スクールガード・ボランティアは、「無理をしないで、できる時に、できる場所で」

次回(第3回)学校運営協議会のお知らせ

11月26日(金)午後3時~4時45分

- ・ 小中一貫教育(ふるさと学習)
- ・ 冬季間の除雪問題の具体的解決策
- ・ こんな先生を西学園に

S I A W A S E

紫あ波せトーキング

「紫あ波せトーキング」とは、学校運営協議会の決定を受け、保護者や教職員、地域住民、時には児童・生徒も含めた多くの関係者まで範囲を広げて、学校のことや子どもたちのこと等について、具体的テーマを決めて、自由に話し合う場です。

この場で出た意見はすべて、すぐには実行できるわけではありませんが、「できることから始める」ことで、多くの人に関わる協働体制を構築していきたいと思います。

多くの関係者の皆様に、学校運営協議会で決めた、「学校運営基本方針」や「目指す子どもの姿」等を共有していただきながら、話し合いを通じて、自分たちの出来ること、出来そうなことを確認し合い、出来るだけ多くの関係者の皆様に学校応援団となっていただき、地域学校協働活動に参画していただくことをねらいとします。

今回予定していた参加者は、学校運営協議会委員(14名)、委員より推薦いただいた参加者(15名)、委員ではない小中PTA副会長(4名)、地域学校協働チーム(5名)で構成され、「紫波西学園や児童・生徒に期待することと課題」をテーマに話し合う予定でした。委員の皆様からの事前のアンケートからいくつか紹介します。

【期待】

- ・ 共通の目標を持った具体的取組の明確化
- ・ 視野が広がり、心は地元に深く根差す取組を
- ・ 小学校から中学校へ、スムーズな連結
- ・ 地域の活性化につながる人材育成・交流
- ・ 旧地区の思いを汲み取った新しい学校づくり
- ・ 小中一貫校を生かした児童生徒の交流
- ・ 地域を愛する心を育て、地域の良さを実感

【課題】

- ・ 学校と地域の信頼関係の構築・情報共有
- ・ 児童生徒のメンタル・物理的なサポート
- ・ 小学校の残らなかった水分・片寄の方々の交流も活発に

【問合せ先】紫波西学園地域学校協働チーム

西の杜小学校 CSコーディネーター 田中 淳